

BE International Corporation

株式会社 ビー・インターナショナル
〒105-0011 東京都港区芝公園 1 丁目 2 番 9 号
Tel 03-3436-8504 Fax 03-3436-8508
作成・改訂 平成25年5月27日

製品安全データシート MSDS

製造者情報

Borregaard AS

P.O. Box 162 NO-1701 Sarpsborg, Norway TEL +47-6911-8000 FAX +47-6911-8665

製品名 エチルバニリン (Ethyl Vanillin)

組成・成分情報	単一製品
一般名	エチルバニリン
化学名	3 - Ethoxy - 4 - hydroxybenzaldehyde
別名	エチルワニリン、Bourbonal、Vanillal
化学式	C9H10O3
分子量	166.2g/mole
既存化学物質(化審法番号)	3-1201
CAS NO:	121-32-4
EC NO:	204-464-7
国連分類	国連の分類基準で評価して危険物に該当しない
国連番号	無し

危険有害性の要約

GHS分類

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分2

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

警告

成分

エチルバニリン > 99%

〔危険有害性情報〕 強い眼刺激
〔注意書き〕 取扱後は手をよく洗うこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。

応急処置

一般指示事項 汚染した衣類は直ちに脱ぎ、よく洗浄してから使用すること。
吸入した場合 直ちに新鮮な空気のある場所に移動させる。
必要に応じて医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合 汚染した衣類を脱ぎ、肌を石鹼水で洗浄する。
必要に応じて医師の診断を受ける。
目に入った場合 コンタクトレンズは外し、水で眼と瞼を少なくとも15分間洗眼する。
洗眼後刺激が残る場合は医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合 水で口をよくすすぐ。多量に飲み込み、本人に意識がある場合は吐かせる。
意識の無い場合に何も投与しないこと。
必要に応じて医師の診断を受ける。

火災時の措置

消火方法 周辺の火災に応じた消化剤を使用する。
不適切な消化方法 直接、水噴射をしないこと。
火災と爆発の危険 炎、熱、酸化剤に触れると爆発する可能性のある塵雲が発生する場合がある。
熱分解により発生した物質の吸引により刺激をうける場合がある。
本製品は可燃性である。
消火を行う者の保護 消化作業員は呼吸器具付保護衣等を着用の上作業すること。
その他情報 火災時に一酸化炭素、炭化水素が発生する場合がある。
爆発した容器を冷ますためには水を使用すること。粉塵に気をつけること。

漏出時の措置

注意事項 換気をする。粉塵の発生と発散を避ける。吸引を避ける。
回収できる限り回収し、残りは多量の水で洗い流す。
掃除機またはほうき等で収集し取り除く。
作業の際に皮膚に触れないようゴム手袋等、保護具を着用する。

取扱及び保管上の注意

取扱い 粉塵、湿気を避け、換気のよい場所で取り扱うこと。保護眼鏡の着用が望ましい。
保管 光、火気、熱源を避け、湿気のない換気設備のある冷暗所に保管する。

暴露防止及び保護措置

設備対策 取扱の際は換気のよい場所で行う。
保護眼鏡、ゴム手袋等の保護具の使用が望ましい。

物理／化学的性質

物理的性状: 形状: 針状結晶または結晶性粉末
色: 白～淡黄色
におい: バニラ様
水溶性: 水 10 g / ℓ ~ 1 g / 100ml (50°C)
溶解性: 有機溶媒
融点: 76-78°C
沸点: 285°C
密度: 1.05g/cm³
分子量: 166.19g/mole
臭気限界: 7 ppm

安定性および反応性

安定性: 通常の保管条件・使用条件で安定
熱、日光、湿気を避けること
避けるべき物質: 酸化性物質、強アルカリ、強酸、金属、アルカリ金属と反応する
四塩化ベンゼン+水酸化ナトリウム または蟻酸+硝酸タリウム
有害な分解生成物: 一酸化炭素、フェノール、火災時に二酸化炭素が発生する

有害性情報

急性毒性 LD50 (経皮) > 2000.00 mg/kg (ラット/ラビット)

環境影響情報 水生環境急性有害性のデータ無し

廃棄上の注意 産業廃棄物として適正に処分する

輸送上の注意

本物質は一般輸送条件で特に問題なし
国連分類: 国連の分類基準で評価して危険物に該当しない
国連番号: なし
輸送の安全対策: 転倒、落下等、容器を粗暴に取り扱わない

適用法令

食品衛生法 食品添加物 香料

引用文献

文献① Safety Data Sheet (17/12/2010 English version)

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また注意事項は通常の取扱を対象としたものですので、特別な取扱をする場合には新たに用途用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。